

## 「学力向上ポートフォリオ(学校版)」

～ 「真の学力」 育成の継続的な取組を目指して ～

## ＜本年度の学力向上基本方針＞

「創造する生徒 心豊かな生徒 鍛える生徒」(かしこく ゆたかに たくましく)  
～ 知育・徳育・体育・コミュニケーションのバランスのとれた生徒の育成 ～

## ＜本年度の学力向上策＞

- 1 学力向上の基盤となる授業規律の確立
  - (1) 落ち着いた学習環境を整え、授業での規律を守り、チャイム始業・就業を徹底する。
  - (2) 授業への取り組む姿勢づくりを全職員共通で指導徹底する。
- 2 生徒が主体となる授業づくり
  - (1) どの授業においても更に生徒同士話し合う場面や討議する場面を設定する。
  - (2) 各教科における「基礎的・基本的な知識・技能」を明確にする。その中で話し合いの内容の向上や発言する力をつけさせ、より深い学びを实践させる。
  - (3) すべての教科において研究授業を行い、教員の指導力向上を図り、アクティブ・ラーニングの手法を積極的に取り入れ、生徒がより主体的に参加できる授業づくりを行う。
  - (4) よい授業の4つの因子を意識して授業に取り組み、生徒アンケートをとり検証を行う。
- 3 全国学力・学習状況調査とさいたま市学習状況調査の結果と分析の活用
  - (1) それぞれの学習状況調査から見られる各教科の成果と課題を把握する。
  - (2) 学力向上カウンセリング学校訪問を活用した調査結果の分析を行い、学力向上の方策を検討し、授業改善に取り組む。
- 4 家庭と地域と連携した学習環境の整備
  - (1) シラバスを配布し、保護者に学習内容を周知させるとともに、家庭学習の充実を図り、学習への取り組む姿勢を高めていきたい。
  - (2) 藤花教室(本校土曜チャレンジスクール)へできるだけ多数の生徒の参加を促し、充実を図る。

## ＜本年度の振り返り＞

- 1 学校全体で落ち着いた学習環境が整えられ、授業での規律を守って取り組んでいた。継続して徹底を図りたい。
- 2 アクティブ・ラーニングの手法を用いて、どの授業にも生徒同士話し合う場面や討議する場面を設定することができた。その中で話し合いの内容の向上や発言する力をつけさせ、より深い学びを实践させたい。
- 3 良い授業のアンケートを2回行うことにより、授業方法の検証につなげることができた。今後がアンケートの内容が少しでも向上できるよう、検討していく。
- 4 藤花教室への参加人数がのべ890人を超え、学習に対する意欲も伺えた。また、スタッフとして安全管理員と学習アドバイザーの30名、PTA本部役員さんのご協力も頂いた。今後とも充実を図っていく。

